

# インターンシップ実習の学生評価の現状分析

## — 今後の教育指導の再構築の観点から —

### An analysis of Students Estimations on Internship Educational Program. — Some Points of Reconsiderations on Practical Educational Teaching —

藪 下 武 司

Takeshi YABUSHITA

**抄録：** 本学経営学部の実習（インターンシップ）では、従前から実習先に学生の評価をお願いしている。本稿では第一に、質問項目である仕事への取り組み、人間関係や時間の使い方などを集計し、男女別、一般学生・スポーツ部学生別などに分け検討する。この結果、全体の傾向は男女とも一致するが、女子のポイントが高く、四大・短大別、一般とスポーツ部学生別では異なる結果が得られた。第二に、自由記述欄を他のインターンシップ団体による実習評価と比較検討し、コミュニケーション能力や創造性・判断力など本学の問題点を探り、企業や社会が求める大学生を育成するため、今後の実習指導教育の在り方を検討する必要性を得た。

**キーワード：** 実習の外部評価、実習教育の指導、学生評価の比較、体験型実習

## 1. はじめに

本稿の目的は、経営学部の体験型教育の実習評価の現状を把握し、本学部の実習教育・実習指導の内容と方法を再検討することである。<sup>1)</sup>

### 1-1 インターンシップ実習の変遷

本学では、経営学部をはじめ教育、看護、理学療法、福祉など、実習の中部学院といわれるように、全ての学部が何らかの実習活動や教育実習、体験授業を行い教育課程の重要な位置を占めている。

経営学部でも1997年の3省合意以降、企業実習（インターンシップ）が本格的に開始された。その段階を見ると、

- ・当初は、大学と企業が試行錯誤しながらインターンシップの意義や内容を考え、実習活動を始めた時期。
- ・その後、省庁や県庁など（経済産業、厚生労働省等）のバックアップにより、各県の経営者協会や商工会議所に働きかけ、地域別のインターンシップ協議会を成立させ、インターンシップを拡大成長させた時期。
- ・さらにそれらの活動が一定の成果をもたらす軌道に乗ると、NPO法人や就職斡旋企業がインターンシップ市場に参入し、中小企業向けインターンシップや、長期のインターンシップなど様々な方法が考案され、実施された時期。
- ・そして現在は、地域の経済団体が主導する方法に加え、

地域大学連合と企業の合同主催、大学・企業が個別に連携して行う場合、さらに就活時期の変更など求人活動に合わせて実施する、ワンデイインターンシップなど種々の方法が併存している。

このような変遷を経た経営学部では、従来型、有給型に加え、この夏には、2015年4月「国土交通省・全国道の駅連合会」との連携協定による道の駅での就業体験型インターンシップを実施している。<sup>2)</sup>

## 2. 経営学部実習の学生評価

本学では、10数年の実習教育の中で、企業実習（現インターンシップ、体験型授業）の終了時に、実習先の担当者の方々から学生の評価をしていただき、それを参考に今後の指導内容や個別指導の準備に充てている。

その評価の内容は、次の項目のとおりである。（これは、実習先に学生の成績評価を決めてもらうという趣旨ではなく、本学の学生評価と実習先が見た学生の様子が同一かどうか、あるいは明らかに異なる場合は何が原因かを求めることが趣旨であり、今後の指導の再考を主たる目的とするものである）

### 2-1 評価項目の概要

#### ①仕事への取り組みについて

問1：仕事への取り組みが積極的か消極的か

問2：行動に創意工夫があるか、または創意工夫がないか

問3：丁寧な仕事ぶりか、乱雑な仕事ぶりか

②職場での人間関係について

問4：人間関係が能動的・積極的か、受け身的・消極的か

問5：他人との調和ができていないか、あるいは自己中心的な行動かどうか

問6：人間関係が、明るい感じか暗い感じか

③挨拶・礼儀について

問7：礼儀正しさが目立つか、あるいは礼儀正しさがなく粗雑な感じか

問8：相手に対する対応が優れているか、または対応がおどおどしているか

④時間の管理について

問9：時間の管理に正確か、あるいは時間の管理にルーズか

問10：無駄が目立たない時間の使い方をしているか、あるいは、時間の使い方に無駄が目立つかどうか

⑤全体の印象について

問11：真面目な実習態度か、不真面目な実習態度かどうか

以上の11項目については、5段階評価で記載を依頼している[なお、5段階評価は、5：非常に優れている(大変良い)。4：優れている(良い)。3：ふつう(一般的な評価)。2：この項目に対しては少し劣っている(少し良くない)。1：この項目に関しては劣っている(良くない)。を目安(基準)として、実習先の担当者にお問い合わせしている]。<sup>3)</sup>

⑥その他(自由記述)

2-2 調査対象期間と調査人数

今回の集計は、平成18年度から平成27年度前期終了時までの10年間の評価を集計し、その傾向を検討する。評価の中で不正確な記述(例えば、すべての項目の評価が5の場合は、大学での指導担当者がそれまでの授業参加状況等を参考にして調整を加える場合もある)を除き、約220名の学生の評価を調査対象とした。

3. 評価の集計結果

本章では、対象となる本学経営学部の学生の実習評価を図・グラフで示し、その結果を考察する。実習評価の結果を見ると以下のような結果となる(図1～図5参照)。

3-1 全体の傾向

最初に、問1から問11までの全体の平均(全期間)を見ると、評価の高い質問項目は、問11「真面目な実習態

度かどうか」、問9「時間の管理に正確かどうか」、問3「仕事が丁寧かどうか」の順番であった。

一方評価の低い項目は、問2「仕事に創意工夫があるかどうか」、問8「相手に対する対応が優れているかどうか」、問4「人間関係が能動的・積極的かどうか」(低い順)となっている。

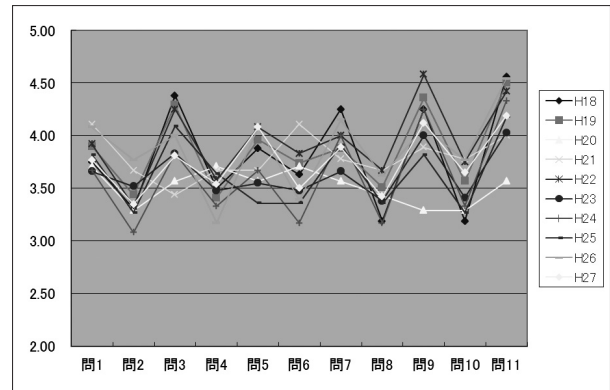


図1 実習評価項目別の変遷(平成18年度から27年度)

次に男女別の評価についてみると、男子の評価として高いものは、問11、問9、問3などであり、低いものに、問8、問6、問2などが挙げられる。

女子の評価として高いものに、問11、問9、問3などがあり、低いものに、問2、問8、問4などが挙げられる。

これらの結果から、評価の高いものは、全体の平均、男女別平均ともに同じ項目であるが、評価の低いものに、全体と女子に含まれる問4「人間関係に能動的・積極的かどうか」の代わりに、男子は問6の「人間関係に明るい暗い」が入っているのが特徴である。女子は全体の傾向と同じであった。

また、全ての項目で女子学生の評価が男子学生を上回っており、特に問11では男女の差が0.45、問6では0.44とその差も大きいことがわかる。

なお図1で、平成20年が平均的なグラフになっているのは、大学開学の年であり実習学生の数・実習先ともにサンプルが少ないことが原因と考える。

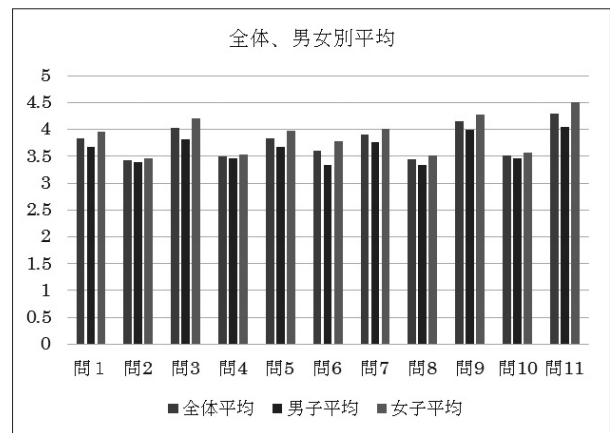


図2 実習評価「全体・男女別平均」

### 3-2 四大と短大の男女別傾向について

本学経営学部では、2007年以前が短大の経営学科の学生であり、2008年度以降が四大の経営学部の評価となる。そこでこれら四大と短大の違いを男女別に考察する。

四大男子の評価項目の高い順は、問11、問9、問7であり、低い項目は、問8、問6、問2の順である。また短大男子の場合、高い項目は、問11、問9、問3であり、低い項目は、問6、問4、問2の順である。

これらの結果から、四大男子の場合、評価が高い項目では、挨拶・礼儀の「礼儀正しさ」が目立つ一方、短大男子では「丁寧な仕事ぶり」が評価を得た。また、評価が低い項目では、四大男子では「礼儀・挨拶での対応」が低い反面、短大男子では「人間関係が受け身的・消極的」といった内容が示された。

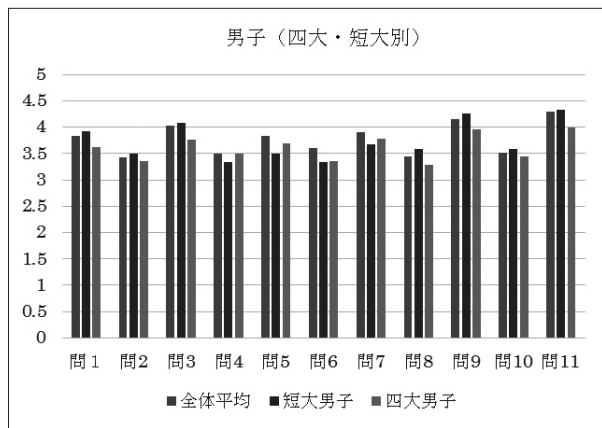


図3 男子学生「四大・短大別評価」

次に、四大女子の評価項目の高い順は、問11、問9、問1であり、低い項目は、問2、問4、問8の順である。また短大女子の場合、高い項目は、問11、問3、問9であり、低い項目は、問2、問8、問10の順である。

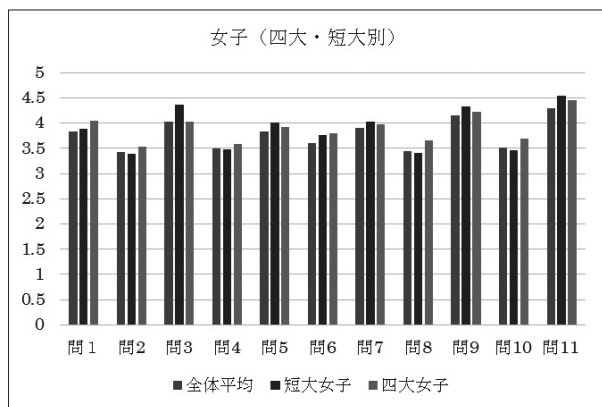


図4 女子学生「四大・短大別評価」

これらの結果から、四大女子の場合、評価が高い項目では、「仕事への取組みが積極的である」、が目立つ一方、短大女子では、「丁寧な仕事ぶり」が評価を得た。

また、評価が低い項目では、四大女子では人間関係で「受け身的・消極的」が低い反面、短大女子では時間の管理において「時間の使い方に無駄が目立つ」といった結果が示された。

### 3-3 一般学生とスポーツ部所属学生の評価

図5から、一般学生とスポーツ部所属学生の評価について見てみる。全ての項目で一般学生を上回り、特に問11、問5、問7、問1の順で全体を上回っている。また一般学生より大きく上回る項目に、問4「人間関係が能動的」(0.53ポイントの差)、問5(同0.46)、問1「他人との調和ができています」(同0.43)がある。

実習の内容までは明らかでないが、一般学生より良い評価があることは明白である。ただしどの程度の差があると望ましいかどうかに関しては一概に明言できない。

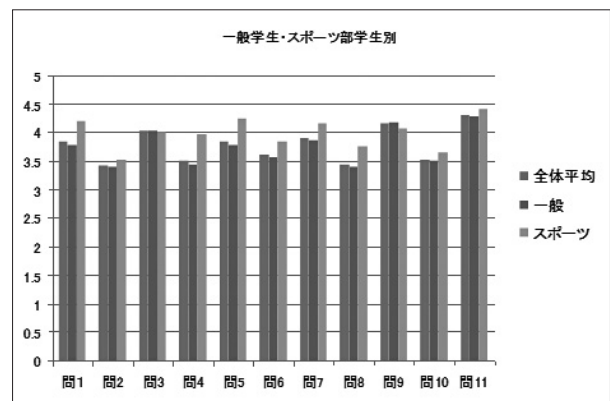


図5 一般学生・スポーツ部所属学生別評価

以上の記述をまとめると、①良い評価を得ている項目として、「真面目な態度」、「時間に正確である」の2項目があり、これらは学年、業種を問わず例年よい評価を得る。

②全体的に劣っている評価項目として、「学生の行動に創意・工夫がない」「表情が暗い感じがする」「対人関係に関して、対応がおどおどしている」「時間の使い方に無駄が目立つ」の4項目は、全体的に評価が低い。

③評価は上記②より悪くないが、評価の低い項目として「仕事への取組がどちらかといえば消極的」「人間関係も消極的」「挨拶や礼儀に対して粗雑さが目立つ」の3項目がある。これらは、どちらかといえばよくない評価に入ることが多い。

## 4. 自由記述欄の諸項目

記述欄の担当者の記述を、①全体として優れた評価、②担当者からみると、少し問題点は残るが良い評価と考えられる記述、③評価が低いと考えられる項目、④インターンシップの評価としては良くない評価の4つに分けて紹介する。<sup>4)</sup>

①全体的に優れた評価項目

- ・明るく笑顔で接客ができていた。仕事も積極的に取り組み大変良かった。今後の就活の参考にして下さい。(ホテル)
- ・日々の実習に目標を持っていた。丁寧に積極的に取り組む姿勢を評価します。(市立図書館)
- ・本来真面目で慎重、理解力もありマナー・敬語もしっかりしている。さらに協調性と責任感を備えている。今後は他世代の話にも耳を傾け会話能力を磨くことです。(社団法人)
- ・仕事に対しても人間関係でも積極的な学生です。有意義なインターンシップでした。(ソフトウェア)
- ・好青年でした。きっと社会に役立つ人間になってくれると期待しています。(法律事務所)
- ・自分が何をすれば役に立てるかを常に考え活動した。商品の勉強も自宅で学習し間違えずに答えることができた。前向きな努力家だと思う。(自動車販売)

なお、これらの良い評価を得た学生は、企業側の評価だけでなく、大学の担当教員が実習や実習指導の時間に判断しても、優れた実習結果を得たと評価できる学生である。

② 良い評価と考えられる記述

- ・一生懸命取り組んでもらえた。この体験が何か役に立てばと応援しています。(印刷)
- ・明るく職場に溶け込みやすい人物で、仕事も頑張ってくれた。(ホテル)
- ・真面目で慎重な仕事ぶりは評価できる。(運輸)
- ・積極的な研修姿勢を評価した。(市役所)
- ・資格試験の授業を受けているので、よく復習しています。(大学図書館)
- ・興味を持った学生がくることは大変良いこと。今後の良い体験になると思う。(洋菓子製造販売)
- ・自ら学ぼうとする姿勢が見られた。慣れない仕事ばかりで大変だったと思う。(大学事務)
- ・期間が短いため、個々の良さが出てくる前に終わってしまう。能力は平均的だが真面目に丁寧に取り組んでくれた。(ホテル)
- ・仕事の理解力が高く、まとめる能力に優れている。受け身に感じるが素直で礼儀正しい。(百貨店)
- ・成果をまとめる能力がある。ゴミ出しなども積極的にやってくれました。(百貨店)
- ・言われたことに真剣に取り組む、尚且つ楽しく仕事をしていることがよい。(呉服販売)
- ・毎日地味な仕事の繰り返しでも、積極的に仕事に取り組む姿勢に好感を感じた。(市役所)
- ・表情も明るく積極的に発言し、作業を進める姿勢が見られた。(市役所)
- ・積極的に自分から動いてくれた。コメントにも努力して答えていた。(大学図書館)
- ・全体的に明るい感じがしてよかった。仕事をするうえで、自分の思い・考えを自分の言葉で表現できる力をつけてほし

い。(生協)

- ・積極的に接客し、コミュニケーションを図ろうとしていた。子供から年配までそれぞれの対応ができていたと思う。(スポーツクラブ)
- ・とてもまじめに取り組んでいた。開始当時はおとなしさが気にかかったが、頑張って関わりあう姿が感じられた。(社会福祉施設)
- ・地味な事務処理の仕事でも真面目に取り組んでくれた。明るく熱心に取り組んでくれた印象がある。(クレーン会社)
- ・真面目な作業態度がとてもよかった。積極的に話もできていた。(製造)
- ・個人情報や専門知識の必要性を感じてくれた。(市役所)
- ・礼儀正しくはきはきしていた。指示されなくても自分から動いていた。(大学事務)
- ・当社にとっても有意義な機会となった。(製造)
- ・明るく皆をリードしてくれた。(金融)
- ・積極的にどんどん仕事を覚えていった。中国語の利用案内を更新してもらった。(ホテル)
- ・仕事を完結させる能力が評価できる。呑み込みの早いところや無駄のない振る舞いによいセンスを感じた。(販売)
- ・与えられた仕事だけでなく、自分で探して積極的に取り組んだ。単調な仕事の中に、何かを見つけ出そうとしてくれたことが非常に良かった。(ホテル)
- ・図書館だけでなく、どこでも働ける積極性や指示に対してきちんと返事をし、真面目に取り組んでいた。少しあわて気味だが指示を最後まで聞いて行動することがよい。(大学図書館)
- ・真面目な実習態度が印象に残っています。(市立図書館)
- ・事務仕事の研修を希望していましたが、デスクワークだけでなく製造現場の体験をしてもらってよかったと思います。(製造)
- ・迅速な行動と丁寧な仕事ができ。特に職場での人間関係のバランスを取るのが上手だと思った。(製造)
- ・他人との調和を配慮できる。挨拶・礼儀には特出したものがある。行動も創意工夫することができた。(製造)
- ・全般的にやる気が出ていた。新聞の全体の流れがわかってもらえたと思う。(マスコミ)
- ・他の学生と比べて積極的な姿勢が見られた。グループワークでは他の学生と協調して作業ができた。(金融)
- ・積極的にお客様とコミュニケーションをとっていた。この経験をこれからの就活に役立てて下さい。(自動車販売)
- ・暑い中での現地調査やデータ作成といった細かく根気のいる作業に、前向きに一生懸命取り組む姿勢に好感が持てた。(市役所)
- ・仲間と積極的にかかわろうとする姿勢は高く評価できる。明るく前向きな姿勢が目立ち、人間性の高さを感じました。(金融)
- ・組合員とより良い関係がきづかれました。(組合)
- ・真面目に取り組む、物事に対して積極的に創意工夫が感じられる。(学校事務)
- ・毎日真面目に仕事に取り組んでもらえました。評価は全員で

- 決めました。(市立図書館)
- ・長期間、生徒とのかかわりを中心に活動に参加して感謝しています。(学校法人)
- ・非常に真面目、積極的な態度で指導者側もやりやすかった。仕事も手伝ってもらった。(自動車販売)
- ・礼儀や挨拶に多少不安があるが、取り組みは真面目であった。手が空けば積極的に尋ね、わからなければ確認する。指摘された点を素直に受け入れる姿に好感が持てた。(政党事務)
- ・取り組み姿勢が立派でした。高い志を持って頑張ってもらいました。(金融)
- ・積極的にコミュニケーションをはかっていた。その積極性と場面にあった冷静な判断ができるとよい人材になると思います。(製造)
- ・宅配業務にもすぐに慣れて、担当者とのコミュニケーションをとれた。最終日のご挨拶には感動しました。(協同組合)
- ・初日は大変でしたが、次の日からは先を読んだ作業ができた。組合員さんの声を大事にして事業に取り組んでいます。(協同組合)
- ・初めは表情が硬かったが、真面目に業務に取り組んでもらい戦力になりました。(ホテル)
- ・高い志を持って5日間頑張りました。今後のご活躍を祈念いたします。(金融)
- ・仕事に対して真面目な態度で、積極的に取り組んでいました。話を真剣に聞き気持ちの良い挨拶ができました。(市役所)
- ・学生が社会の仕事を自身で見えてやることは、今後の就職活動に大変役立つことだと思います。(建設)
- ・短期間でいろいろまわり大変だったと思います。すべてにおいて優秀でした。(ホテル)
- ・比較的親しみやすい実習を取り組めた。(教育)
- ・大変真面目な印象、法人営業は驚きの連続だったと思います。気づきを大切にしてほしい。(金融)
- ・真面目な態度で取り組み、向上心を持って取り組むことができた。(市役所)
- ・全体的に良いと思う。(シンクタンク)
- ・コミュニケーション能力に長けている。積極的に疑問に思ったことを聞く姿がとてもよかった。(商社)
- ・とても礼儀正しかった。(ソフトウェア)
- ・物事への対応がよく、真面目な性格。言われたことは満点にこなし勉強する意欲が伺われた。(道の駅)
- ・金融に興味があり、よく勉強している。(金融)
- ・周囲との協調性を大切にして行動できた。指示したことに行動が早く時間を有効に使うことができた。(金融)
- ・自分でメモを取りながら真面目に取り組んでおり、仕事に対する心構えが大変良かった。(製造)
- ・与えられた仕事に、何事も真面目に取り組んでもらえました。(運輸)
- ・暑期中仕事を頑張ってくれた。これが人生のいい経験になってくれれば嬉しい。(卸売)
- ・店舗での業務を一通り覚えてもらった。経営についての内容をもう少し増やさなければいけないと思った。(販売)

- ・笑顔で積極的に行動していた。一度頼んだことはしっかり行い丁寧な仕事をされました。(生協)
- ・是非このような学生に入社してもらいたい。とても勉強になりました。(建設)
- ・一番質問が多く写真などのデータも残した。身につけようとする態度が一番感じられた。(道の駅)
- ・真面目に作業する姿が印象的でした。短い期間でしたが朝早くから良く頑張ってくださいました。(道の駅)

### ③ 評価が低いと考えられる項目

- ・積極的だがおっちょこちょいの面も見られ、今後は自分を表現する会話能力を磨くことです。(社団法人)
- ・慣れない仕事を頑張って研修してもらいました。消極的ですが真面目に取り組んでいた。(ホテル)
- ・遅刻早退なく真面目に業務に取り組んだ。(製造)
- ・おとなしく見えた。与えられた仕事は真面目に丁寧に行うが、積極的な面が見られなかった。挨拶を何度か注意した。(製造)
- ・本人の真面目な態度に驚いたが、口数が少ないので誤解を受けていると思う。本人も努力している。(大学図書館)
- ・真摯に1週間研修をしました。(福祉施設)
- ・一生懸命頑張ってくださいました。(ホテル)
- ・真摯に作業に取り組む好感を持ったが、仲間とうまく協力できるように努力するとよい。(市役所)
- ・意見を持ち、それを発表できるように努力するとよい。(市立図書館)
- ・よく考えてから行動していた。積極性が少ないように感じたので、もう少し発言を増やすとよいと思う。(市立図書館)
- ・技術的なことに関しては、もう少し日数が必要と感じる。5日間頑張ってくださいました。(スポーツ施設)
- ・自分から動くことはなかった。おとなしいので他の学生より印象が薄いです。(大学図書館)
- ・貴重な体験をさせて頂きました。(病院)
- ・指示を理解して作業を進めることができた。初対面の人と話すのが苦手だと思う。(社団法人)
- ・仕事でも二人で行動する傾向がある。人間関係の体験もしたほうがよかったと思う。(市役所)
- ・日程の短期化を希望します。(市立図書館)
- ・内容確認が多すぎるように感じた。指示待ちの傾向があり。(社団法人)
- ・明るい性格で職場を活性化してくれた。仕事では時間内に対応できないことが多くカリキュラムを消化できないことがあった。(販売)
- ・通常の業務はこなせるが、メリハリをつけるとよいと思う。(販売)
- ・おとなしい感じ、若さを前面に出して元気よく。(製造)
- ・少しおとなしい感じがした。(製造)
- ・積極性は良いと思う。問い直して本質的なことをつかんでほしい。(協同組合)
- ・職員や職場を観察してたくさんの気づきがあった。考えを深

- めていく力をつけてほしい。(協同組合)
- ・終始緊張していたと思う。熱心に取り組んでもらいました。(自動車)
  - ・謙虚でしたが自分を変えようと色々努力できました。(金融)
  - ・笑顔と積極性がよかった。学ぶことの幸せを考えてほしいです。(製造)
  - ・理解を深めるには5日間では短い。社会人として成長するため更に学んでほしい。(市役所)
  - ・メモをとったらという注意にはすぐ対応した。(大学事務)
  - ・仕事のやる気、PC能力は高いが、コミュニケーション能力では他人とのかかわりに関心がないように思え、一人であることを好む。文章や文字を書く作業では誤字が多い。(社団法人)
  - ・丁寧で真面目な仕事ぶり。もくもくと働いてくれたが、もう少し前に出てよかった。(大学図書館)
  - ・大変真面目に作業を行った。性格もありやや暗い感じで、積極的な人との対話が少なく感じる。(製造)
  - ・5日目から笑顔も出てきた。自分のやりたいことを仕事にしている人たちに数多く触れられる機会が多くあるとよい。(販売)
  - ・言葉遣いも自分なりに気にしていたが、コンビニの挨拶のようところが気になった。身だしなみを身に付け、人に対して笑顔で接する余裕が出てくるとよい。(市立図書館)
  - ・荷卸しで失敗がありましたが、二度目は失敗なくできました。一回目の失敗から学びました。(組合)
  - ・印象は向上意識が感じられてよい。幼い言葉遣いが気になりました。(自動車販売)
  - ・自信を持って取り組むことは評価しますが、状況の中で自分の知識で処理できるかどうか再考する点を学んでいけるとよい。(市立図書館)
  - ・基本的に真面目、丁寧な物腰で好感が持てるが、仕事に対する積極性をみたい。(一般事務)
  - ・消極的な部分があるが、わからないことは聞くし覚えようと努力している。(製造)
  - ・仕事は正確、慎重でよいが、もっと積極的になれるとよい。(製造)
  - ・インターンの取り組みが本人の就活に良い効果、ヒントになれば嬉しい。(製造)
  - ・言われたことは正確に行うことができた。今後いろいろな経験を通して、責任を持つことの意味、自分から行動する積極性が身に付けられるといいと思う。(NPO法人)
  - ・説明を受けるときは必ずメモを取るように。必ず自分が行った作業は確認すること。(大学図書館)
  - ・精神的にも肉体的にも大変だったと思います。疑問等は質問できるようになってきたが、時間の使い方に問題があるようです。(大学図書館)
  - ・メモは取れたが一生懸命になりすぎて頭の中を整理するところまでは慣れていない。少しずつスキルアップしてほしい。指示されたことだけでなく、自分の力で考えることにも気づくとよい。(社団法人)
  - ・積極的な発言や目立つことは苦手な性格。実習中は頑張って発言しようという態度が見てとれた。(NPO法人)
  - ・現場を見て実際のコミュニケーションの大切さを実感したと思います。(生協)
  - ・態度は真面目で問題ないが、もっと柔軟性を身に付けると適正が高まると思う。(販売)
  - ・自分を出すことが少なく指示待ちになる。アピールが少ないと感じた。(販売)
  - ・集団の中で自己主張し、周囲に影響を与えることができるようになると思う。(金融)
  - ・行動が早く、有効的に時間を使うことができた。立ち振る舞い、話し方を意識するとより良い。(商社)
  - ・お客様相手なので、大きな声で挨拶ができるとよかった。(道の駅)
  - ・質問や意見が出せるとよかったと思う。(市役所)
  - ・真面目に職務に取り組んだ。社交性はこれから身に付けると良いと感じる。(事務所)
  - ・時間を早めに心がけるようにする。社会に出る前に社会人としての自覚について今一度見直するとよい。(販売)
  - ・真面目で優しい性格と思われる。それが逆に消極的・暗い感じに映る時もある。元気にやってもらえるとよかった。(道の駅)
  - ・会社を知ろうという気持ちがあり積極的に質問がある。日が経つにつれて会話が増えたが、笑顔を忘れないようにしてください。(生協)
  - ・緊張しているためか顔がこわばって見えます。人からどう見られているか意識して良さを出すと良いと思います。(商社)
- ④ インターンシップの評価としては良くない評価
- ・行動するタイプで、事務仕事には興味がないようでした。挨拶ができなくて何度か注意した。(製造)
  - ・仲間を助ける姿も見られたが、真剣みに欠けているところがあった。(市立図書館)
  - ・与えられた仕事は真面目に取り組んだ。誤字が目立っていたので正確で丁寧な字が書けるとよい。(製造)
  - ・自分から連絡や報告をすることができなかった。人との会話が苦手なので、今後は明るく元気に話をすること、文章漢字を努力すること。(社団法人)
  - ・今後は人とのコミュニケーション能力を身に付けること。日誌を書くこと、会話の中で敬語も慣れていない様子。(社団法人)
  - ・欠席が多く変則勤務になった。だれてきたのか休み明けの睡眠不足が目立った。(図書館)
  - ・今回の実習も、やらされているという感じがあった。最終日にかなりの説教をした。(大学事務)
  - ・態度は真面目でしたが、職員との会話が成り立たない。コミュニケーションが不得意なのはわかるが、努力しようと心掛けないのが残念です。どの実習も自分の意志を持って臨んでほしいと思う。(一般事務)
  - ・接客に柔らかさがあってもよい。(大学事務)

- ・積極的に学ぼうという態度はなかったです。(市立図書館)
- ・作業を丁寧に行う姿勢に誠実さを感じたが、全体では良くも悪くも目立たなく印象に残らない。(市立図書館)
- ・社会人としての気配り、注意力の働かせ方が必要な場面が多かった。一度言われたことはメモし、わからないときはすぐ確認する。社会に出ることは容易ではない。(社団法人)
- ・非常にやる気はあるが、一般教養の不足、論理的思考を身に着けなければ社会では通用しない。その辺りを学生時代に身に着けてほしい。(マスコミ)
- ・社交的だがPCのレベル、目的意識、強み、良さを感じられない。自分にできないことがあれば、人一倍努力するべきです。そうしないと社会人にはなれません。(社団法人)

## 5. 本学以外のインターンシップ報告「学生評価」との比較

### 5-1 岐阜県インターンシップ推進協議会(岐阜県経営者協会)の調査報告

岐阜県インターンシップ推進協議会(2015)「平成26年度調査報告」の中で「企業調査」の部分に関してみると、インターンシップ受け入れによる成果は、①「仕事内容への学生の理解が深まった」(57社)、②「学生に対して企業・団体をPRできた」(49社)、③「学生の傾向等が把握できた」(24社)、が多く、以下「社内の活性化につながった」、「若手スタッフの育成に効果があった」、「社内体制等の見直しにつながった」などの順になっている。

受け入れをする中で感じたこと、困ったことについては、「受け身な学生と意識の高い学生の二極化が感じられる」、「友人同士で参加した学生は、私語が目立った」、「社会の仕組みに興味があるものの、知らない学生が多い」、「基本的な礼儀が低下しており、今年は企業で社会的マナーの指導に力を入れた」、「とりあえず参加してこい」と案内している大学もあるようで、自主的に応募してきた学生よりも質が低く感じられるなど、学生の対応に困惑する結果も指摘された。

以上から、企業側では学生個人の意識・姿勢の二極化、学校の対応に対する戸惑いも見られたとしている。<sup>5)</sup>

「受け身な学生と意識の高い学生の2極化」や「実習への参加意識の問題」、「基本的な礼儀の低下から基本マナーの指導に力を入れる必要性」など、本学の学生評価のコメント結果と同様の記述がみられる。

また、岐阜県インターンシップ推進協議会「平成24年度、企業・学校・学生調査」によると、学生の選好の際に重視しているポイントは、「学校側の推薦により受け入れ」、「学生の人物像を重視」、「採用実績がある学校を優先」の順になっている。

学生の受入れ等に関する最近の傾向(学生のマナー、コミュニケーション能力、実習に対する意欲など)については、「特に変化はない」が最多数であるが、「向上し

ている」が「低下している」を上回っており、企業側の傾向を見ることが出来る。<sup>6)</sup>

その他に、「インターンシップに参加する学生は、就職に対する意識が非常に高いと感じる」との意見がある一方で、「勉強に来ているという意識が欠如している」、「基本的な挨拶・礼儀作法を理解していない」、「希望受け入れ場所について、はっきり答えることができない」、「自分の意見を持っていない。意欲を感じられないことが多い」など、なんとなく来ている学生が多いことも指摘している。<sup>7)</sup>

### 5-2 大阪商工会議所の調査結果

大阪商工会議所(2014)「企業の『インターンシップ(就業体験)受入れに関する調査』結果について」によると、インターンシップ受入れにより、6割以上の企業が「優秀な学生の確保につながる」ことを期待している。また、受け入れ経験のある企業は「業務の負担が大きい」こと、受入れ未経験企業は「指導する社員の確保」「指導プログラムの作成」が課題と考えている。

受け入れ学生の条件として、全体の半数が「基本的マナーを備えている(52.5%)」、「高い参加意欲(50.0%)」を学生に求めている。特に、「毎年受け入れている」企業、「過去に受入れたが現在は受入れていない」企業の約半数は、学生に「高い参加意欲」を求め、初めて受入れられる企業は「基本的マナーを備えている」ことを重視している。<sup>8)</sup>

さらに、毎年インターンシップを受入れている企業が、学生受け入れに期待する成果は、「社会貢献の一環(71.7%)」、「大学との関係強化(56.7%)」、「優秀な学生の採用につながる(53.3%)」であるが、過去受入れたが現在は受入れていない企業のそれを見ると、「優秀な学生の採用につながる(59.5%)」、「自己のPRにつながる(56.8%)」、「社会貢献の一環(54.1%)」となり、企業側にとってはやはり学生の採用の成否がインターンシップの主たる目的と考えることができる。<sup>9)</sup>

### 5-3 リクルートキャリアの企業アンケート結果

リクルートキャリア「就職白書2015-インターンシップ編-」の企業のアンケート結果「インターンシップの実施目的とその成果」からは、「仕事を通じて、学生に自社を含め、業界・仕事の理解を促進させる」(88.8%から84.8%へ減少)、「学生に就業体験の機会を提供することで、社会貢献する」(64.7%から60.0%へ減少)、「採用を意識し、学生のスキルを見極める」(41.1%から30.1%へ減少)となっている。

特に「学生のスキルを見極める」項目が、-11.0%と最も差が見られることは、採用の目的で行った実習も、企業側が考える学生の実習効果が得られなかったことを示している。

一方で、「定型業務を明示し、学生のスキルを活用し

て社員に対する活性化を促す」は-1.4%であり、インターンシップを通じた自社の社員に対する効果は得られていると考えられる。

また、インターンシップ参加者の選考基準と採用選考の基準との相違を見ると「全く同じ」は22.5%であり、「多少異なる」22.5%と「全く異なる」37.5%を合わせると、約8割が採用の選考とは異なる状況であると考えている。<sup>10)</sup>

就職みらい研究所(2014)「就職白書2014インターンシップ編」からも、2013年度の企業の回答から、「採用を意識し、学生のスキルを見極める」が、前年の24.2%から31.1%へ増加、「従来の採用とは異なるタイプの学生を見出す」が、4.2%から7.2%へ増加しており、インターンシップを機会に、「学生に仕事を通じて業界・仕事の理解を促進させようとする企業側の目的が伺える。<sup>11)</sup>

#### 5-4 日経キャリア教育のアンケート結果

日経キャリア教育(2012)「学生アンケート：イマドキの就活生」による、インターンシップに参加する目的を聞いたところ、

「仕事の現場を見るため」(35.6%)、「仕事を経験するため」(25.2%)、「志望企業の職場を見るため」(15.6%)が上位に挙げられた。「選考に有利だから」と考える学生はわずか1.6%であり、日経では、インターンシップ本来の目的を認識できる結果であると結論付けるが、学生は直接回答しないものの、仕事を経験する中に「就活の選考」を意識していると考えても不思議はない、としている。<sup>12)</sup>

#### 5-5 NPO 法人、えひめ中小企業支援協会の報告書から

えひめ中小企業支援協会「インターンシッププログラム実施報告書2013年度」によると、企業におけるインターンシップの効果は、「企業の認知度・PR効果」、「職場の活性化等社内への影響」、「インターンシップ研修生の受入れは、新卒採用の基本指針に役立っている」という効果については実施されているのに対して、「学生の意見や提案を事業に取り入れること」、「新卒採用に関するミスマッチ防止の業務」については、インターンシップのメリットが十分に発揮されていないとの意見が多い。

また、学生の基本的なマナーや主体的な行動の欠如に対して、学生の教育についても検討する必要があると考えられた。<sup>13)</sup>

#### 5-6 堺・南大阪地域インターンシップ推進協議会

堺・南大阪地域インターンシップ推進協議会「平成25年度インターンシップ参加企業のアンケート結果」(企業回答)によると、以下の結果が得られた。

受入れによって得られた効果について「社会貢献(40社)」、「指導する若手社員の成長(32社)」、「職場の活性化(22社)」が高く「将来の採用人材の見極め(14社)」

が低い一方、大学に対しては「学生の目的意識を高める(36社)」、「事前にビジネスマナー講習をする(25社)」などの要望が多かった。<sup>14)</sup>

またこの調査では企業の記述・感想として、

- ・実習期間が短くても、待ちの姿勢ではなく積極的に取り組んでほしかった。
- ・参加する学生次第で、教える側のモチベーションも変わってくるように感じた。
- ・コミュニケーション能力の点で、目上の人との会話の仕方に問題があるため、勉強の必要がある。
- ・就職意欲は高いけれど、自分の座標軸を持っていない学生が多いと思う。
- ・挨拶や礼儀はきちんとしていた。内容に関してはもう少し積極的な姿勢がほしかった
- ・エントリーシートだけでは受け入れ部署、プログラムの作成が困難。など、学生や大学に関する要望、反省点も多かった。<sup>15)</sup>

#### 5-7 コンソーシアム京都のアンケート結果

公益財団法人大学コンソーシアム京都(2014)「2014年度インターンシッププログラム実施報告書」の企業側(受け入れ側)アンケートからは、インターンシップ参加理由として「社会貢献(34.1%)」、「社員の育成(17.1%)」、「大学との連携強化(15.9%)」等が多かった。学生を受け入れて一番のメリットは、「職場の活性化(34.1%)」、「優秀な学生との出会い(15.9%)」、「社会貢献(13.4%)」の順であった。

さらに個別意見を聞いたところ、

- ・意欲の高い学生、就職希望学生ならなお良い。
- ・今年も優秀な学生が来てくれて満足です。
- ・最近では意欲のない学生が増えていると感じる。
- ・事前指導で、どのようなことを学んだかを知ったうえで対応したい、等々。

以上のように、社会貢献を第一の目標に掲げているが、大学との関係を重視しつつ優秀な学生との出会いを希望しているが、その学生が就職希望であればなお良しとする、就職の事前研修の一環のようなインターンシップを行っていることが推察できる。<sup>16)</sup>

## 6. おわりに

### 6-1 評価の結果より

本調査の結果から、以下のことが明らかになった。学生の評価として良いものに、「真面目で正確な仕事ぶり」、「仕事にやる気がある」や「時間を守り欠席・遅刻がない」などが挙げられる。

一方で、「物事を考える創造力や判断力」といった応用力や決まった時間内に仕事を終える「時間の管理能力」や「コミュニケーション能力」など、一般の大学生や社会人になる時求められる能力が低い結果となった。



また一般の男子学生に比べて、女子学生やスポーツ部所属の学生たちのポイントが高いことも明らかになった。

記述項目では、非常に優れた学生は、実習先でも大学でも高い評価を得ているが、これらの学生は人数の割合としては非常に少ない。ほとんどの学生が「真面目でよく頑張ってくれた」や「言われたことは正確に行うことができた」など、一見よい評価を得ているが、これらの表現は、学生がそれ以上の期待に応えられないこと、実習先の担当者の実習計画がすべて達成されていないことをも意味する。実習先からすると、大学生として少し物足りない部分を感じているものと思われる。

さらに悪い記述では、「文章、漢字の指導が必要」や「実習への参加目的の欠如」、「社会人としての必要な常識不足」など、かなり厳しく指摘される記述が目立つ。本学で、これらの記述が多いことは、指導の内容を再考する機会とすべきであろう。

本学以外の企業アンケート結果からは、現在の大学生や若者の特徴や印象が述べられる一方で、採用を意識した記述も多くみられる。すなわち多数の企業では、インターンシップと企業の採用制度を関連付け、「インターンシップで時間をかけて観察し採用する」とか「採用に関して社会経験を重視したり、仮採用制度を設けることも必要」など、インターンシップを採用の一環と考える企業が多い。<sup>17)</sup>

このように企業により、実習の位置づけが異なることを踏まえ企業と大学の実習目的や内容、そして希望する学生を適切に指導する必要性も大きくなっている。

## 6-2 実習指導の改善について

今後の実習指導の改善点として、以下の項目などが考えられる。

- ・現在の授業・指導内容を、確実に理解し実行することが重要な課題で、それを実現できる授業方法を検討する。
- ・一般の講義と同様の考え（すなわち学生が一度くらい休んでも構わないという意識）をやめ、通常の授業とは異なる意味を持つという重要性を認識させる。
- ・学年や業種を問わず、本学が実習先から高い評価を得られない項目について対応策を含めて検討する。
- ・実習の意識の高い学生とそうでない学生の指導を区別し、実習前には目的意識を高められる内容を検討する。
- ・学生が希望する企業と、希望とは多少異なる業種の企業とを両方経験する。
- ・文字、漢字、文書の書き方など、最低限の知識・技術の習得や社会の基本的ルールを教授する。
- ・企業実習の意味・目的と学生達への動機付けを明確に行う。

## 6-3 今後の課題

インターンシップの意味、重要性を認識し最低限のマナーを修得すること。また事後指導では、実習中の緊張

感や課題解決能力・考察力をどの程度、その後の大学生活の中で持続できるかが課題でもある。さらに実習に参加した学生が、その後学部の牽引役として活躍すること、また実習では後輩の指導に当たるなど、活躍できるように育成したい。

本学学生の特徴を活かし、実習先にアピールしつつ、地元と連携した継続的な実習を大切にすることが、今後の課題として重要であると考えられる。

本稿では各項目別の相互関係（クロス集計）や、企業規模別、業種別、学生の学年別、年代別などの傾向については検討していない。今回の結果をもとに今後の課題としたい。

## 参考資料

- ・大阪商工会議所（2014）「企業の『インターンシップ（就業体験）受入れに関する調査』結果について」
- ・岐阜県インターンシップ推進協議会（2013）「平成24年度企業・学校・学生調査－岐阜県インターンシップ推進協議会推進強化事業」
- ・岐阜県インターンシップ推進協議会（2014）「平成26年度調査報告」
- ・公益財団法人大学コンソーシアム京都（2014）「2014年度インターンシッププログラム実施報告書」
- ・堺・南大阪地域インターンシップ推進協議会（2016）「平成25年度インターンシップ参加企業のアンケート結果」
- ・社団法人経済同友会（2003）「企業の教育・人材に関するアンケート調査結果報告」
- ・就職みらい研究所（2015）「就職白書2015－インターンシップ編－」株式会社リクルートキャリア
- ・日経キャリア教育（2012）「学生アンケート：イマドキの就活生」
- ・NPO法人、えひめ中小企業支援協会（2014）「インターンシッププログラム実施報告書2013年度」
- ・藪下・河野・中川（2006）『インターンシップに関する調査研究報告書－本学学生と岐阜県を中心とした東海地域の企業に対する意識調査、調査の比較研究』中部学院大学短期大学部経営情報学科

- 1) 本稿での体験型教育とは、企業における見学、体験実習やインターンシップ、教育実習など広い範囲の実習教育を意味する。
- 2) 2015年度夏休み期間には、岐阜県内3つの道の駅（池田温泉、美濃にわか茶屋、古今伝授の里やまと）で計7名の学生が体験実習を行った。
- 3) 強制的に依頼するものではなく、記入と評価は企業様にお任せしている。
- 4) この分類は、あくまで大学担当者の主観的な分類である。また学生の実習活動全般から判断して、企業側の記述内容が同様の内容・結果でも、異なる分類とし

- である場合がある。なおコメント後の（ ）内の業種分類は、例えば銀行・信用金庫などを含めて（金融）と表示し、かなり広い捉え方でまとめた。
- 5) 岐阜県インターンシップ推進協議会（2005）「平成26年度調査報告」（平成26年12月17日）。
  - 6) 「マナー、コミュニケーション能力、意欲については、学生により差がある」と報告している。P.4.
  - 7) 岐阜県インターンシップ推進協議会（2013）「平成24年度企業・学校・学生調査－岐阜県インターンシップ推進協議会推進強化事業」参照。
  - 8) 大阪商工会議所（2014）「企業の『インターンシップ（就業体験）受入れに関する調査』結果について」p.1-4.
  - 9) 大阪商工会議所（2014）「企業の『インターンシップ（就業体験）受入れに関する調査』結果について」p.7.
  - 10) 就職みらい研究所（2015）「就職白書2015－インターンシップ編－」株式会社リクルートキャリア、p.5-7.
  - 11) 株式会社リクルートキャリア・就職みらい研究所（2014）「就職白書2014インターンシップ編－2013年度のインターンシップの実施状況（企業）－」p.2-3.
  - 12) 日経キャリア教育（2012）「学生アンケート：イマドキの就活生」参照。
  - 13) NPO 法人、えひめ中小企業支援協会「インターンシッププログラム実施報告書2013年度」p.5.
  - 14) 堺・南大阪地域インターンシップ推進協議会（2016）「平成25年度インターンシップ参加企業のアンケート結果」p.15-16.
  - 15) 堺・南大阪地域インターンシップ推進協議会（2016）「平成25年度インターンシップ参加企業のアンケート結果」p.17-19.
  - 16) 公益財団法人大学コンソーシアム京都「2014年度インターンシッププログラム実施報告書」参照。
  - 17) 社団法人経済同友会（2003）「企業の教育・人材に関するアンケート調査結果報告」参照。